

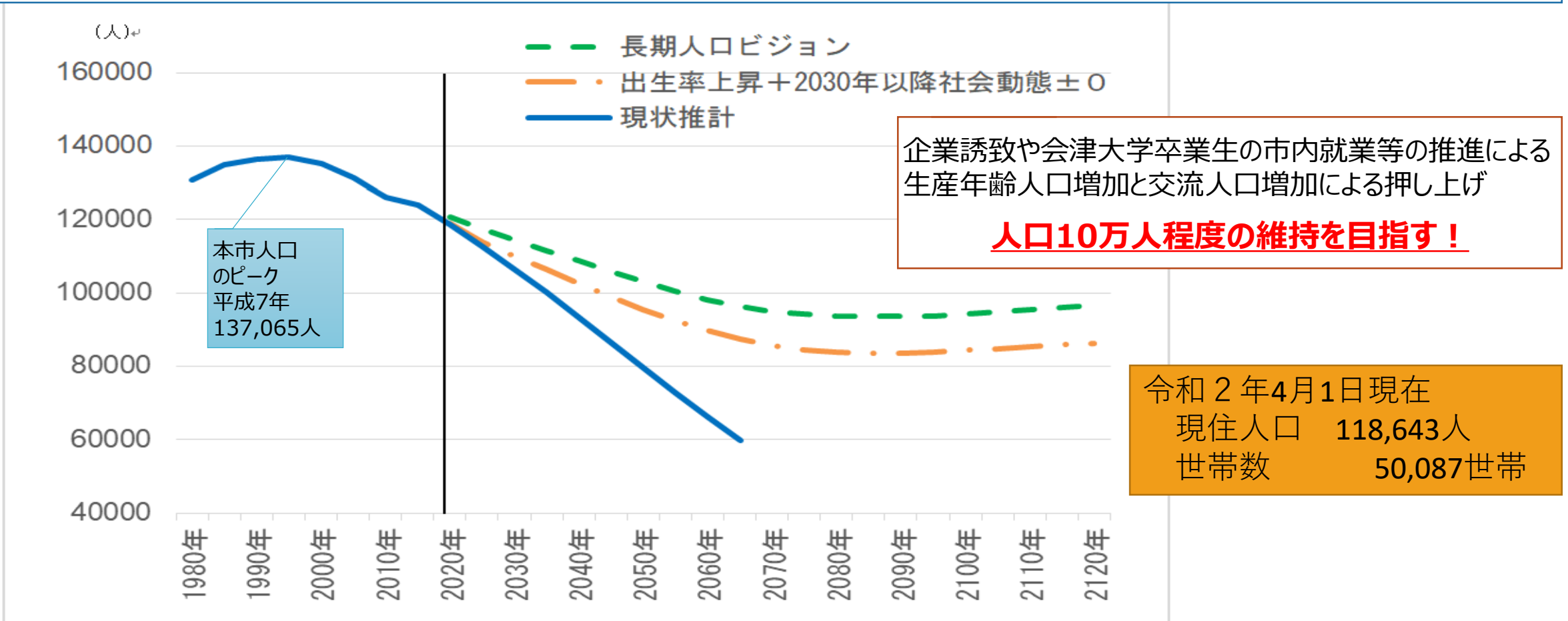
# 門田地区の現状（データ編）

令和2年11月26日 地域づくり課

# 1 会津若松市の人口（将来推計と目標）

## ■ 今後の人口推計

今のペースで人口が減っていき、2040年には人口10万人を切り、2060年には約6万6千人まで人口が減ることが予測されています。そのときの高齢化率（65歳以上の人口割合）は46%に達し、令和2年4月の高齢化率（約31%）を大きく上回ることが想定されます。

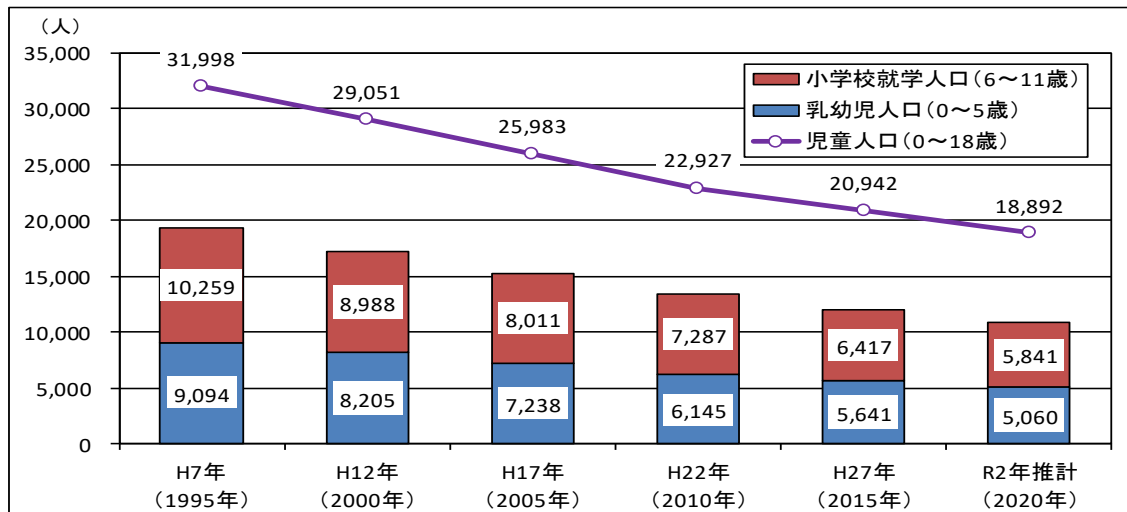


※出展：「第2期会津若松市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

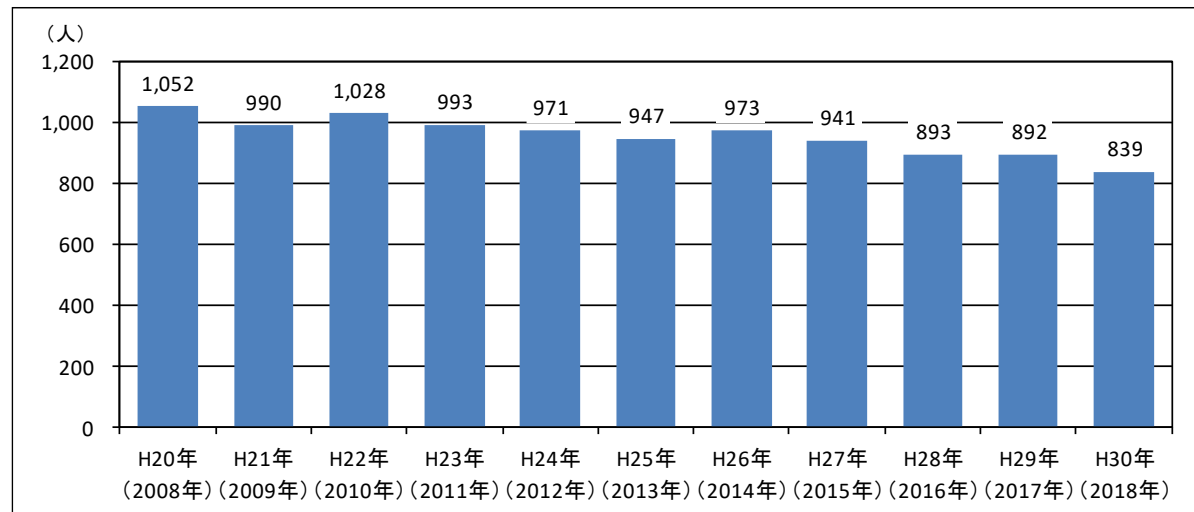
## 2 会津若松市の人口（子どもの状況）

出生数は減少傾向であり、子どもの人口（0～18歳）も徐々に減少しています。

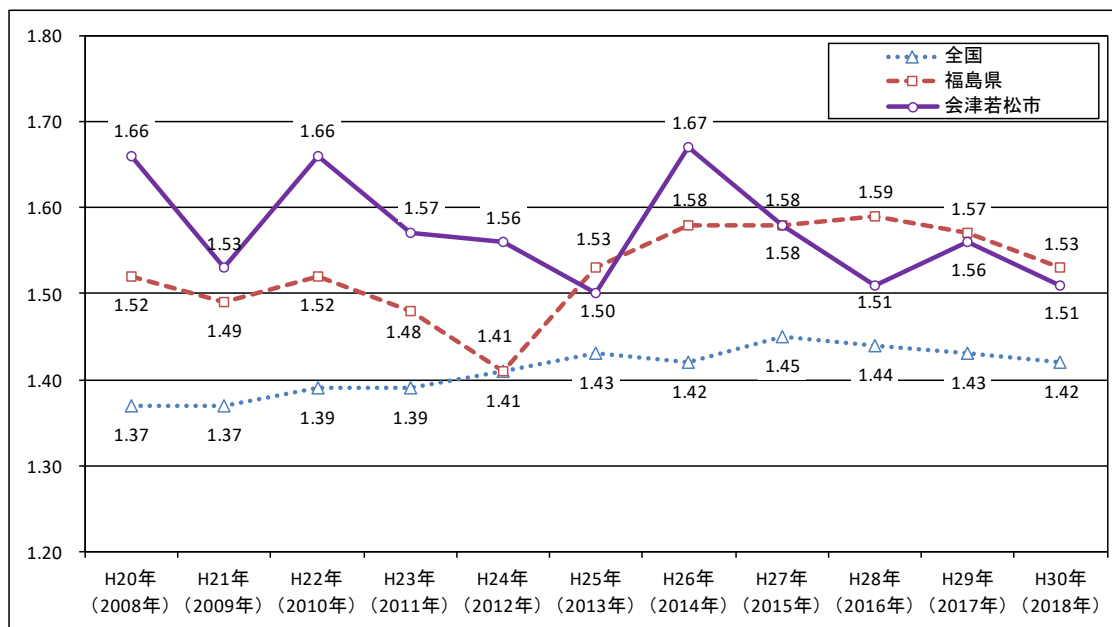
このまま減少が続くと、地域の活力が失われ、子育てを支援する地域コミュニティの維持も厳しい状況となることが懸念されます。



子どもの人口（0～18歳）の推移

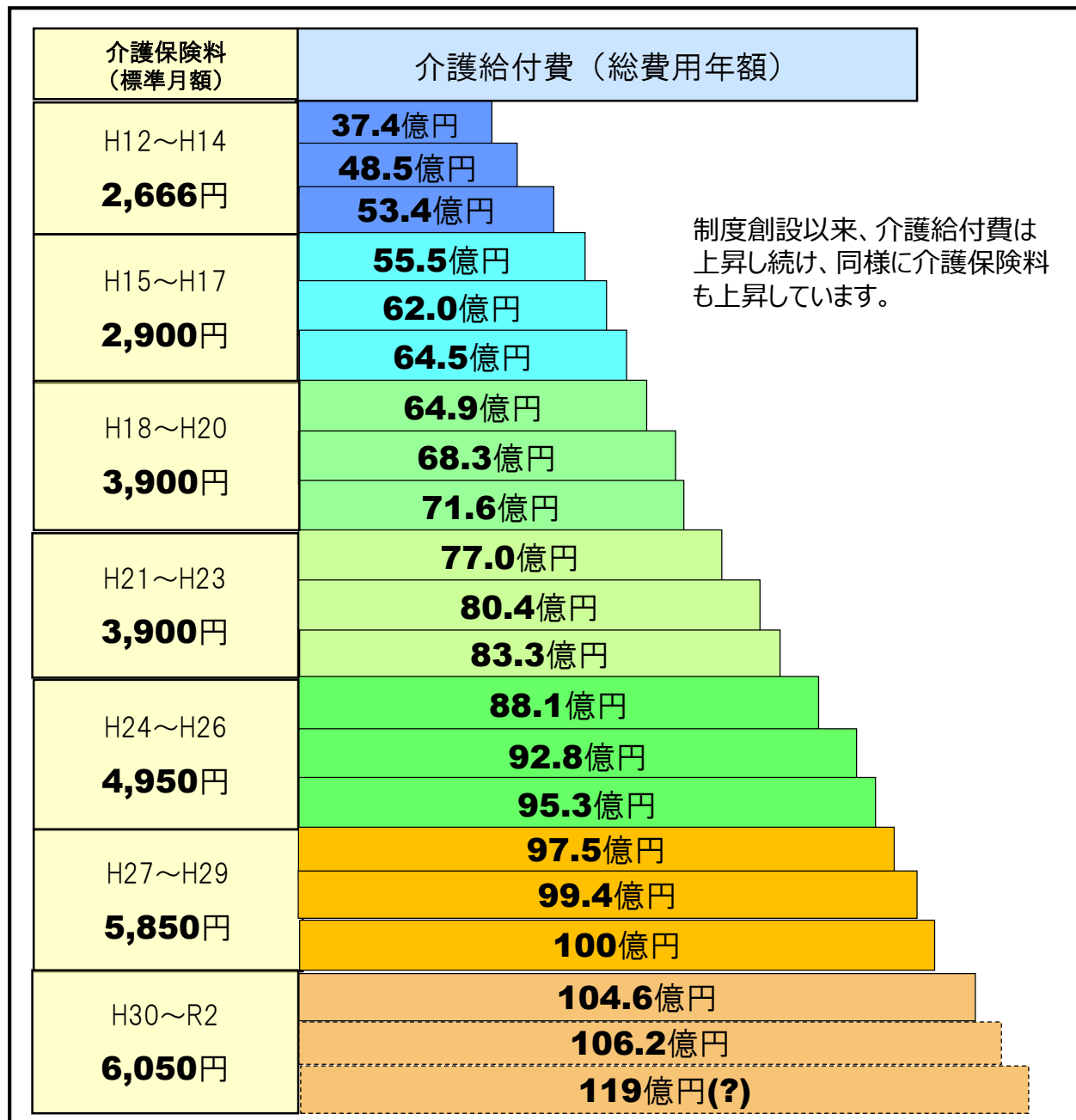
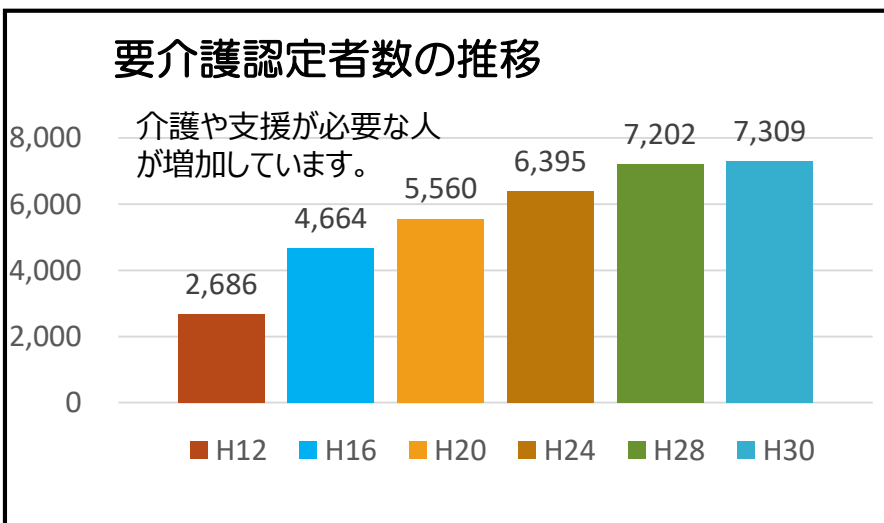
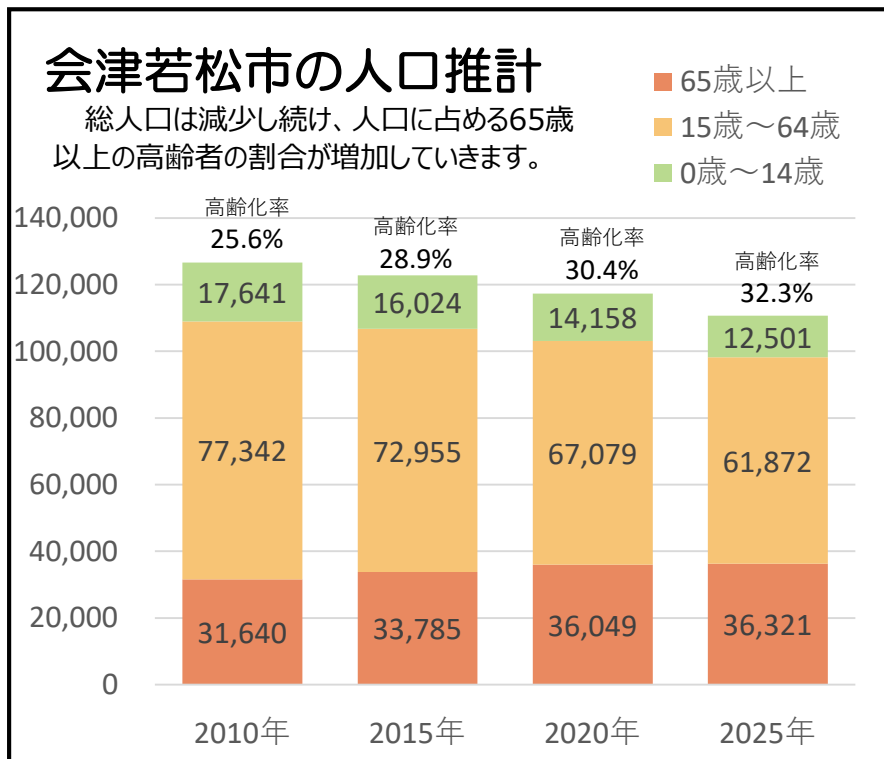


出生数の推移

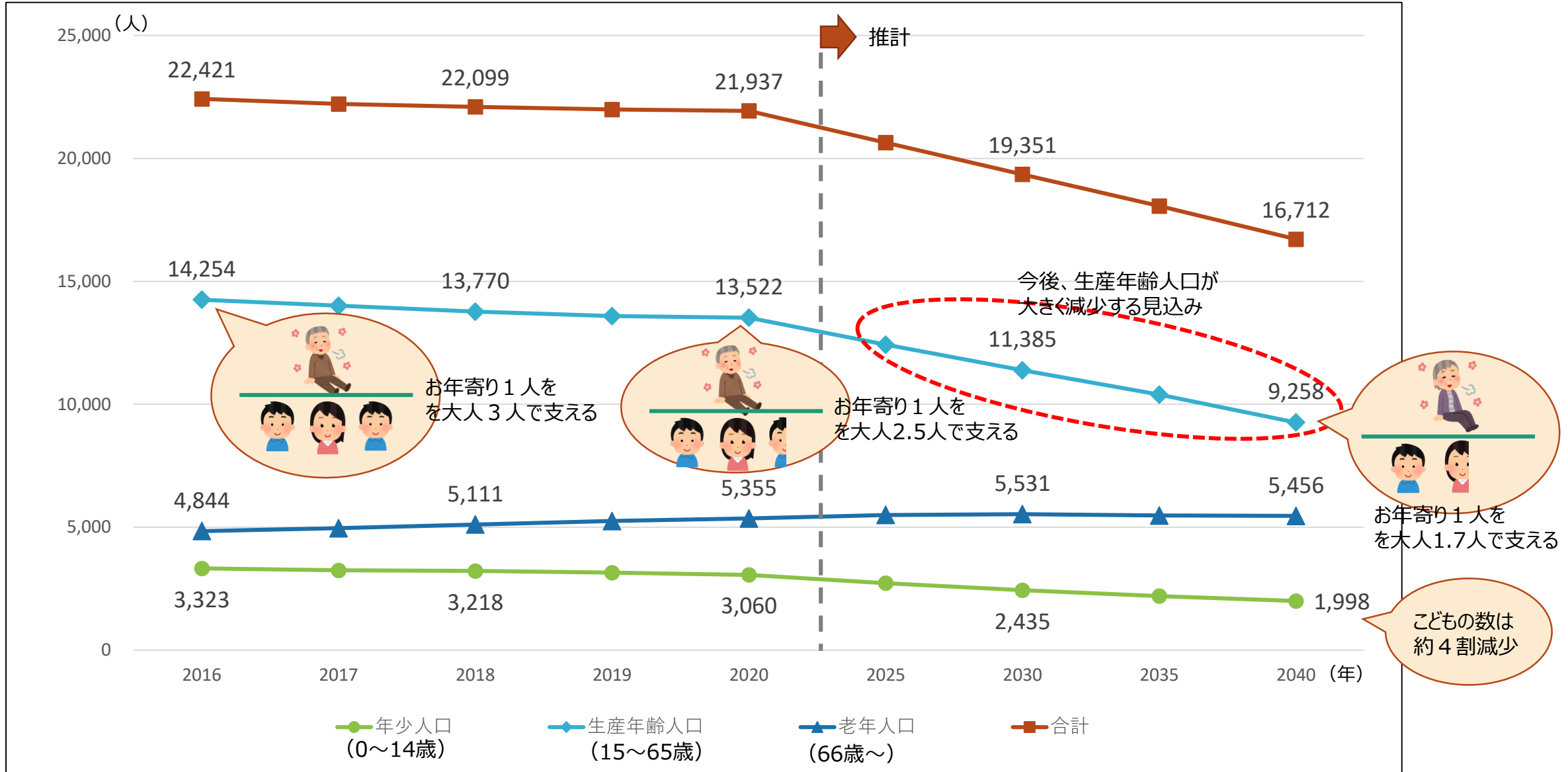


合計特殊出生率の推移

### 3 会津若松市の人口（高齢者の状況）

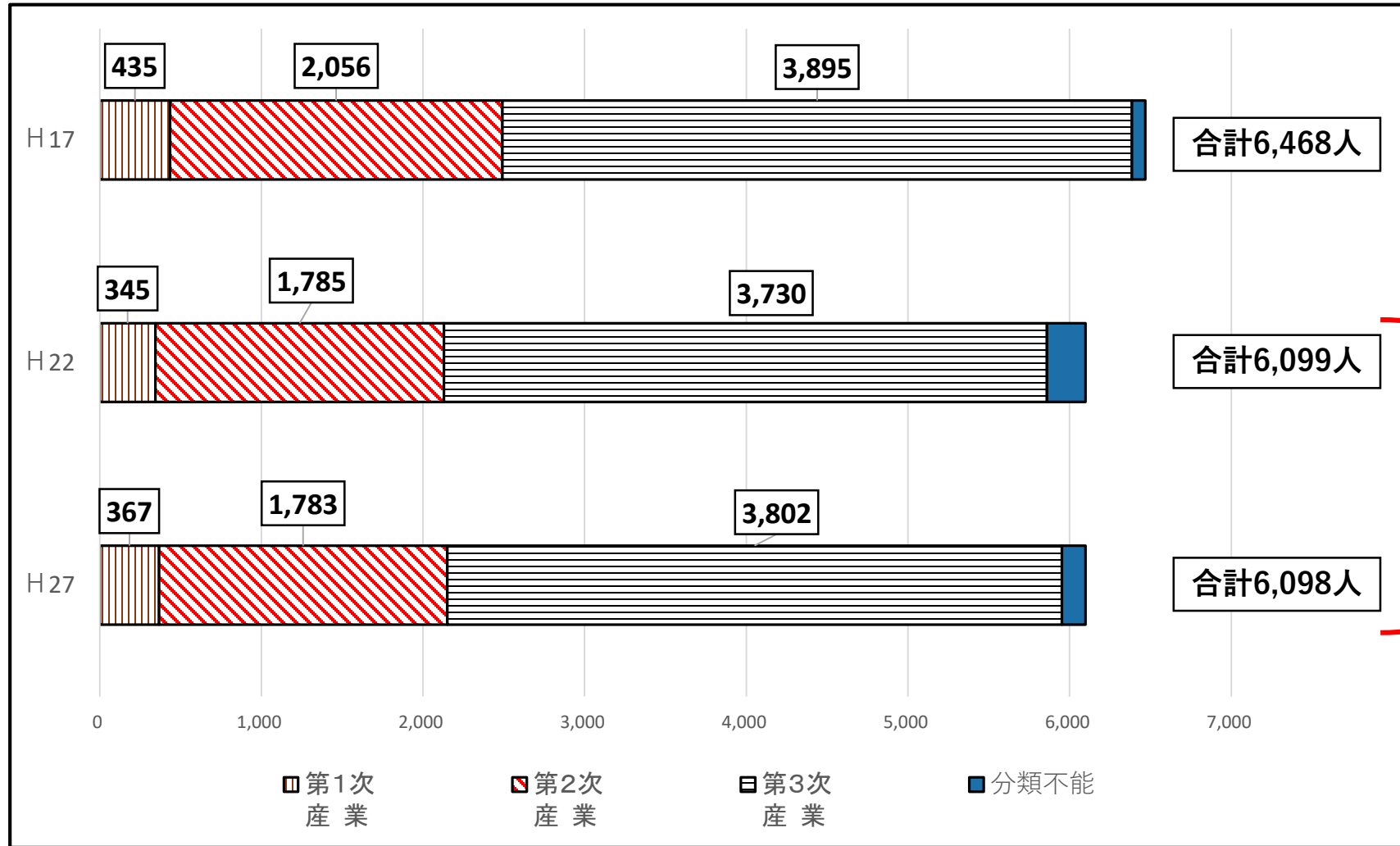


# 4 門田地区の人口（世代別人口推移）



※各年の人口は1月1日時点の地区別1歳毎住基人口データから算出  
 ※推計人口は「第2期会津若松市 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の単純推計値より算出

## 5 門田地区の産業（産業分類別就業者数の推移）



就業者人口の変動はわずか  
&  
人口構成も変わっていない  
↓  
**人材の移り変わりが  
ないまま高齢化している  
可能性が高い**

特に農業は  
地域の風土へも  
大きく影響

※データは国勢調査結果（産業別15歳以上就業者数：会津総合運動公園周辺地域）より作成